

黒部源流の山々Part I [編集する](#)

2008年08月24日 05:23 [友人の友人まで公開](#)

7 view



今回選んだコースは、10年前に歩いた北アルプス裏銀座コースを含むもの。しかし、登ってから気づいたことは、これらの山が「黒部源流の山々」と呼ばれていること。黒部川の源流を取り囲んだ山なのだ。

昨年は黒部川上流の「下の廊下」を歩いたけど、今回は上流をも遡る源流。前回とつながるというものなげだか嬉しく、ナイスチョイス、と自分を褒めてみる。

それでは、4日分の山行記録、いってみます👏

8/14(木)

まずは、標高差約1300mのブナ立尾根を一気に登るので、気合が必要。ザックは、大切な3泊分の食料と、やや多めの水が入っていて、重い...🤔

登り始めは☁️ がつがつ歩いていたが、やがて遠くからゴロゴロと雷の音が聞こえてきて、稜線までもう少しというところで大雨🌧️ ⚡️。雷雨が一気に激しくなるので、ここでレインウェアを着用👍

よしっ、がんばるぞ、と気合を入れたところ、

ピキーン!!💣👤

まさかの、左のふくらはぎをつる...

この登りの続きすぎる尾根で、がんばりすぎたのかなあ...😓

でも前後を振り返っても誰もいないし、誰かの助けを借りられるわけでもなく、しかしここまできたら、あとは山小屋まで行くしかない、と思い、再びゆっくり歩き始めると、今度は右のふくらはぎが、ピキーン!!💣👤

仕方がないので、休憩。。。。

しかし、休んでいても雷雨は次第に強まる。風も強い。体が冷えてきそうなので、ここはペースを落として歩こう。。。 そうこうしていると、あれ、登山道が下ってる...、と思ったら、山小屋が見えて一安心。ありがとう、マイふくらはぎ✨

今日のルートは、本来コースタイムは5時間(休憩含まず)が、休憩時間を入れて3時間半で歩けたので、よしとしよう!!

大雨の中、テントを張るのは面倒なので、素直に山小屋に素泊まりを決める👉 心なしか、山小屋の主人は、テント泊まりの人よりも、素泊まりの人への対応の方が、優しい気がする。

それにしても山小屋は快適😊 乾燥室もあるから、衣服は全部乾かせるしね👌(でも、水は500mlで100円。高いよ～。)

夕食🍲は、同じく素泊まりの登山客と一緒に自炊した。彼女は旅行好きが転じて、山に目覚めてしまった人。海外の山へも行くそうだが、両親には「ちょっとタイまで」と言いながら、実はアフリカ(ジンバブエ)の山に登りに行った、なんてこともあるそう。

やっぱり、どこの登山家も親には心配をかけたくないんだね、きっと。

12:00 高瀬ダム濁沢(P12)発

12:50-13:05 P8(昼食)

13:55-14:00 P5

14:27-14:33 P3 過ぎで雷雨(→雨具着用)

14:50-15:00 ふくらはぎをつる(右も左も)

15:30 烏帽子小屋(P0)着

【夕食】親子丼、味噌汁、大福、ビール🍺、アールグレイ

《歩行時間:2時間54分/行動時間:3時間30分》

8/15(金)

10年前、ここを歩いたんだなあ、と感慨にふけりながら出発。当時のことは断片的にしか思い出せないけど、たえちゃんやら、ようちんやら、山を始めたばかりの18歳の女の子が、よくこのゴロゴロ岩のアップダウンをがんばって歩いたなあ、と思えるコースだった。(当時は、一日の歩く距離をあらかじめ短く設定、というのもあったけどね。)

朝は、かろうじて雲と雲との間から、朝日が見えたものの(ちょっと感動!!)





あとはずっとガス。待望の水晶岳(日本百名山)もガス。

しかし午後、鷲羽岳の山頂に着いたときに、なんと🤩晴れたー🎉🎉



遠方はガスってるけど、10年前は、たしかここから槍が見えたなど。ここで撮った集合写真を思い出した。何度も見てた写真なので、このワンシーンだけは目に焼きついてたけど、この鷲羽岳に立ったとき...、ここでこんにやく畑とお菓子を交換したな、とか、女性陣はここで一生懸命日焼け止めを塗ってたなあ、とか、いろんなことが蘇ってきてしまい、他の登山客がたくさんいる中で、思わず涙ぐむ。。。🥹

そして、北アルプス最後の秘境と言われる、雲ノ平へ到着。



標高 2500m 付近に、これだけの平原があるのもすごいと思う。尾瀬なみに木道が整備されている。ここには、「アルプス庭園」「スイス庭園」「ギリシア庭園」「アラスカ庭園」「日本庭園」等、いろいろな庭園が作られている。しかし、正直、看板がなければどこが何の庭園なのか!? とわかりにくいような...。(→何か、感性が必要なのだろうか💧)





結局この日は時間の都合上、アルプス庭園しか行けなかったが、行ってみて正解💡 アルプス、というか、ただっ広い草原地帯かな。その草原の先に山々が見える。なかなか他にはない視界でした🏔️

夕食は、隣のテントの人と一緒に食べる。(というより、隣の人は食べ終わっていたので、おれの食事につきあってくれたのかな。彼はウイスキーのお湯割りを飲んでいた。)

富山出身だけど、幼少の頃はまったく山に興味がなかったのに、東京の大学でワングル部を知ってから、山に目覚めた人。今は、主に富山県の山ばかり登っているようで(剣、立山等)、同じ山を何度も登るのもいいものだと話していた。でも学生の頃、もっと登っておけばよかったな、とも言っていた。

同感🙄

でも、今からだって遅くはないっ、と自分に言い聞かせ、就寝🌙

【♪朝食】カチャーシューメン、ホットチョコレート

5:10 烏帽子小屋発

6:15 三ツ岳

6:20-6:25 お花畑コース&展望コース分岐

7:33-7:40 野口五郎小屋

8:00 野口五郎岳

8:30 真砂岳分岐

8:55-9:05 休憩

10:30-10:45 水晶小屋

11:10-11:15 水晶岳
11:40-11:56 水晶小屋
12:25-12:28 ワリモ北分岐
13:00-13:10 鷲羽岳
13:45-14:00 ワリモ岳分岐
14:45 祖父岳
15:00 祖父岳北分岐
15:35-16:10 雲ノ平キャンプ場(→テント設営)
16:45-16:50 アルプス庭園
17:20 雲ノ平キャンプ場

※水晶小屋から水晶岳、ワリモ北分岐から鷲羽岳、
雲ノ平キャンプ場からアルプス庭園まではピストン

【夕食】牛丼、海草サラダ、豚汁、ビール、コーヒー

《歩行時間:10時間4分/行動時間:12時間10分》

(つづく)

黒部源流の山々Part II [編集する](#)

2008年08月25日 06:16 [友人の友人まで公開](#)

7 view



8/16(土)

3日目にもなると、朝から身体がボロボロ...。👇👇👇

さて、隣のテントの人がおススメしていた「スイス庭園」をゆっくり眺めたい。と思いつつ、早朝からガス。しばらくガスが晴れないか様子を見ていたが、その気配はなく、結局出発を予定より1時間遅らせて5:45に出発。スイス庭園にも行くが、真っ白。



晴れていれば、アルプスの少女ハイジのような、なだらか草原の斜面が見えるはずでした。が、、、仕方なく、とぼとぼと立ち去る... 😞

しかし、奇跡は起こる!! 7時過ぎ頃から、視界がだんだんとくっきりし始め、日本庭園(と思われるところ)

も、かなりよく見え、



そして、きた-----つ!!



快晴 🌞 青空 🌞

そして、ここが雲ノ平から一気に谷間へと下った「黒部源流」地点。逆ルートの人にとっては、「雲ノ平入口」。



しかし、黒部源流といっても、



まだまだ川の流れは上流へと続いている。つまり本当の源流は、まだまだ先らしい。山って深いね～

この先の登り坂で、ある若者に抜かされるが、その若者がおれに一言：

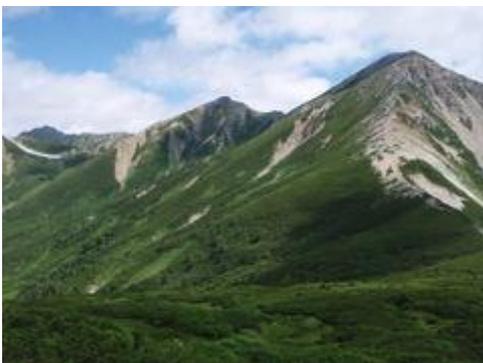
「後ろから見たら、残業にくたびれたお父さんみたいでしたよ」

うわあ、お父ちゃんだってがんばってるんだよ～～。どうせみそじですよー!!☀️ (まあ、実際ほんとうにくたびれてたけど👉)

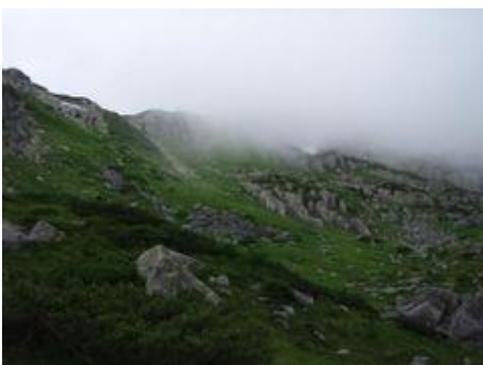
そして、彼は颯爽と去っていった。。。

三俣山荘到着。ここでも快晴。今朝の濡れたままのテントを乾かせる～♪ キャンプ場からは、昨日登頂し

た鷲羽岳、ワリモ岳、水晶岳がよく見えた。



ここから黒部五郎岳まで軽装備でピストン。コースタイムでは、往復 8 時間以上あるので、気合を入れ直して出発するが、だんだん怪しい雲が...📩



黒部五郎岳は、3 日前、ロンもここに立っていて、ここからの写メを送ってくれていた。ロンは山頂で格好良く、背中を見せている。その視線の先にはまぶしいばかりの青空!! これをずーっつイメージしてきたのに、おれが来たときは、



やっぱりガス…。典型的な真っ白さ…。そんなに日頃の行いが悪かったかなあ、と反省しつつ、まゆ子のお母さんにもらったヤクルトを飲んで、気分転換。そうそう、稜線付近では、ガスのときによく出てくるライチョウ(雷鳥)の親子(!?)に出会えました🐣



20分間は、山頂を独占してたけど、だんだん風も強くなり、急いで下山。しかし、事態は起こった。大雨🌧️、というよりどしゃぶり🌧️ 実はこの黒部五郎のピストンでは、レインウェアの下を持ってこなかったの、ずぶ濡れ。靴の中までびちょびちょ🐣

テントに着き、テントのフライをきれいに張り直し(こういうのも自分でやらないといけないからめんどい...)、テントの中に入ると、中はまったく問題なし。テントの中って快適❤️

洋服を全部脱ぎ、ガスをつけ、やっと体が温まってきた、と思った頃…。

尿意が襲う…🐣

(このキャンプ場、トイレは山小屋(キャンプ場から歩いて2分)を利用するように言われている。)

迷った挙句、17時過ぎに若干雨が弱まったのをみて、荷物をまとめて山小屋に避難。すみませーん、素泊まりさせてくださーい。

うーん、やっぱり小屋は快適だった。トイレもあるし、乾燥室、ステキすぎ。しかも、小屋にはたくさんの方がいるのに、受付の順番から、運良く10人部屋を1人で使わせてもらえることに!! これが部屋の一部です。



さて、夕方 18:50。山小屋ではみんなが天気予報を見ようとテレビの前に集まってくる(この時間だけテレビがつく。)(→長野県では、山岳地方の天気予報があるのだ。)しかし、この日は北京オリンピックで、レスリングの吉田が金メダル獲得🏆が放映され、天気予報はなんと中止…。

山小屋の人が、7時過ぎにテレビを消すと、登山客がブーイングの嵐。

「兄ちゃん、7時のニュースでも天気はやるんだから、つけとけよ。」

「兄ちゃん、若いのに融通がきかねえなあ。」

山小屋の兄ちゃんはオロオロし始めるが、結局テレビは再びつかなかった。でも、山小屋なんだから仕方ないじゃん。兄ちゃんの立場もわかる。それに、日本人で金メダルを獲った人がいることだってすごいのに、ブーイングかい…。なんだかへんだな山小屋…、と思った瞬間🤔

テレビであれだけでもめた登山客もさっさと部屋に引き上げていったが、消灯は遅めの9時とすることでラッキー♪ 久々に、山小屋内のテーブルでポストカードを書いてみる。こういう時間もなかなかよろし、です。

【♪朝食】クッパ、焼き鳥(缶詰)、味噌汁、ホットチョコレート

5:45 雲ノ平

6:10-6:15 スイス庭園

6:40 祖父岳北分岐

7:00 頃?? 日本庭園 (→ここから晴れ!!)

7:40-8:05 黒部源流

8:35-10:00 三俣山荘(→テント設営&ダラダラ)

10:40 黒部乗越
11:20-11:25 黒部五郎小舎
13:00-13:20 黒部五郎岳
14:37-14:40 黒部五郎小舎 (→この後どしゃ降りの雨)
15:27 黒部乗越
16:05 三俣山荘 (→17:05 にテントから山小屋へ避難。)

※三俣山荘から黒部五郎岳まではピストン

【♪夕食】ハヤシライス、海草サラダ、わかめスープ、コーヒー

《歩行時間:7時間 57分/行動時間:10時間 20分》

8/17(日)

ふとんが快適だったせいか、朝から大寝坊💣 (4:45 出発予定なのに、4:52 起床...) 目覚まし代わりの携帯、やっぱり電池がきれてる...。しかも焦りすぎたためか、コンタクトがはずれたー!!

とにかく、急いでコンタクトを入れ、炊事場を確保し、ラーメンを食べ、トイレを済ませ、テント場へ行き、テントをたたみ、パッキングし...。テントをたたむのも、けっこう体力使うけど、この一連の行動を1時間で済ませられた自分に喝采👍👉

出発する直前で、隣のテントの人がようやく外に出てきた。この人は、昨日は午後からずっと、テントを出るに出れず、結局トイレも一日中我慢していた、とのこと。オツカレサマデシタ。

さてさて、この日はずっとガス。



道中、看護師の女性と一緒に歩いた。実は三俣山荘には、ボランティアの診療所があり、彼女は、仕事の休みを使って、この診療所を手伝いに来たそうだ。一日に何人かは利用客がいて、診療所のために、また来年も来たい、という。うー、まさにあなたは、登山客の天使です✨

その女性と別れた後、とにかく、朝の寝坊分を取り返せねば、という思いが強く、がつつ歩いていたら、無事下山できていた、そんな感じ。

新穂高温泉のバス停前にある「アルペン温泉」。ここをずっと目指して歩いてきた。名前は素敵なんだけど、どう見てもしょぼい、しょぼすぎる...😓

なので、平湯温泉までバスで移動し、「ひらゆの森」という温泉へ。ここ、露天風呂が広すぎ!! 温度も熱すぎず適温!! 施設全体も広すぎ!! これで500円はお得でしょう!! ここで3泊4日の汗を流し、下界の男に戻る。あー、ビールが身体にしみこむ~🍺

お疲れ様でした🙌

【♪朝食】広東風カラメン

6:00 三俣山荘

6:30-6:35 三俣蓮華岳分岐

7:45-7:50 双六山荘

8:45 弓折乗越

9:13-9:25 鏡平山荘

10:30-10:35 秩父沢

11:25-11:40 わさび平小屋

12:30 新穂高温泉

《歩行時間:5時間 48分/行動時間:6時間 30分》

..*..*..*..*..*..*..*..*..*..*

スケジュールをつめすぎたせいかな、毎日、朝から晩まで歩いていた、そんな感じ。しかも、山の中では、何気にやらなければならないことが多い。休憩時間にやること、テント場についてからやること、e.t.c.なので、のんびりする時間の前に、常に流れ作業にのっていたような...

でも、無事に下山できたし、これでまた経験値がふえたかな。まだまだレベルアップしていきたいね。次の山のために👉👉👉

※フォトアルバム、作成しました♪

http://mixi.jp/view_album.pl?id=19899421&mode=photo